2023年6月29日

株主の皆さまへ

株式会社京葉銀行

第117期定時株主総会　事前質問へのご回答について

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社第117期定時株主総会開催に先立ち、多数のご質問・ご意見をお寄せいただきまして、誠にありがとうございました。
お寄せいただいたご質問・ご意見のうち、株主の皆さまのご関心の高いと思われる事項等について、以下のとおりご回答いたします。
株主の皆さまには、今後ともご支援賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

記

質問１	ＰＢＲや株価など、企業価値と業績の向上に向けた取り組みについて説明してほしい。
回答	現在の当行の株価やＰＢＲについては、株主の皆さまに充分ご満足いただける水準にないものと認識しており、大変重く受け止めております。 現在の株価は、当行の業績推移のほか、長引く低金利環境、少子高齢化など、地域金融機関を取り巻く環境の厳しさが反映されているものと理解しております。 こうした環境下ではありますが、ＰＢＲなど、企業価値を表す指標の改善について、まずは、第１９次中期経営計画（以下、現中計）で掲げております成長戦略をしっかりと推し進めることで、収益性を向上させ、ＲＯＥを高めていくことが重要であると考えております。 現中計の具体的な施策である『戦略的人員の再配置』や『外部パートナーとの連携』は、当行の商品・サービスの幅と質を確実に引き上げ、シンジケートローン組成件数が増加するなど、業績面においても着実にその成果を上げ始めております。 現在、来年度よりスタートする次期中期経営計画の策定に着手しておりますが、次期中計は、当行の強みであるお客様との強固なリレーションを基盤として、さらなる成長を遂げるために不可欠な「差別化」と、それを支える「人材育成」に重点を置き、現中計で既に芽吹いている各施策の効果を、一層伸長させていくフェーズといたします。 株主、投資家の皆さまには、『持続的な成長期待』をお持ちいただけますよう、中長期目線の成長戦略や資本活用、魅力的な株主さま還元をトータルでお示ししたいと考えておりますので、引き続きのご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

質問２	配当についての考え方を説明してほしい。
回答	配当については、「銀行業としての公共性に鑑み、健全経営と内部留保の充実に努めながら、株主の皆さまへの適切な利益配分を実施」するという方針を掲げております。 また、現在の第１９次中期経営計画において、「安定配当を基本としつつ、中長期的に配当性向３０％以上を目安とする」旨を掲げさせていただきました。 今後も収益力の強化と効率的な経営を行うことで利益水準を高め、企業価値の向上につなげてまいります。 なお、２０２３年度の１株当たりの配当金は２２円と、昨年度の記念配当１円を除くと実質１円の増配を予定しております。

質問３	株主優待制度を拡充する予定があるのか教えてほしい。
回答	株主優待制度は、株主の皆さまの日頃のご愛顧に感謝するとともに、株主優待によって、より多くの方に当行株式に関心をお持ちいただき購入のきっかけになることや、現在保有されている株主さまの長期保有につながることを期待し実施しております。 制度の開始当初は、定期預金の金利優遇としておりましたが、その後ギフトカードの贈呈に加え、昨年からは「宝くじコース」を設けるなど適宜見直しを行っております。さらなる拡充につきましては、制度の効果等を確認しながら見直しを検討してまいります。

質問４	現金を取り扱わない店舗に不便さを感じます。導入した目的を教えてほしい。
回答	当行では、コンサルティング業務を中心に、原則窓口で現金を取り扱わない「キャッシュレス店舗」を展開しております。 デジタル化やキャッシュレス化の進展などにより、お客さまの日常においても現金を利用する機会が減少する一方で、資産形成や相続などの相談ニーズがあると認識しております。 こうした状況を踏まえ、当行では中期経営計画の基本戦略に掲げる「課題解決型営業の強化」の一環として、一部業務を制限しコンサルティングを強化する目的で、「キャッシュレス店舗」を導入しております。 なお、「キャッシュレス店舗」への移行に際して、現金ニーズのあるお客さまには、ロビー係を配置し店舗内ＡＴＭの利用方法をご案内しているなど、お客さまの利便性を損なわないよう配慮しております。 お客さまにおきましてはご不便をお掛けしておりますが、上記の趣旨をご理解賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

質問５	ＩＴ投資に対する考え方を説明してほしい。
回答	デジタル技術の活用を通じてお客さまや地域社会へ新たな価値を提供するため、組織を横断した「デジタル戦略委員会」を設置し、その下部に戦略の立案・推進・人材育成・投資管理・リスク検討のワーキング・グループを設け、中長期的なデジタル推進「POLESTAR計画」を（2022年度より5ヶ年）策定いたしました。 なお、IT投資に対しては、短期的な施策と未来を見据えた長期的な戦略を踏まえバランス良く投資してまいります。

以　　上